



しおんざんたいぎゅうじ
17 賜恩山退休寺

尾張藩主光友の傳(もり)役であった小野沢五郎兵衛が隠居所として賜った地に正保元年(1644)開基しました。山門は初代藩主義直が母のために建立した名古屋の相應寺から移築されました。「賜恩山退休寺」の名に由緒が感じられます。



したかいどう ふるいど
18 下街道の古井戸

井戸枠に「南無阿彌陀佛 慶安五壬辰年(1652)二月四日」と退休寺開基の小野沢又五郎吉清(五郎兵衛)の名が刻まれています。この辺りは水不足がちで、この井戸で村人や下街道の通行人などが助かったといわれています。*市指定文化財



てんのう じょうやとうだいせんじ
19 お天王さま/常夜灯(大泉寺)

覆屋内に天王社がまつられ、境内に秋葉山 元治元年(1864)と金毘羅大権現 安政3年(1856)の刻字がある2基の常夜灯があります。金毘羅大権現の常夜灯には、内々神社や退休寺にも石碑を寄進した杉屋佐助の名が刻まれています。



はちまんしゃ だいせんじ
20 八幡社(大泉寺)

創建は不明ですが、天正9年(1581)と伝えられています。春日井商業高校(現春日井泉高校)新設の際、敷地を提供した代わりに現在地に移り、昭和40年代後半に社殿が改築されました。隣の弘法大師堂には珍しい立ち弘法も見られます。

D さかしたじんじゅ
坂下神社

文禄元年(1592)に創建された和泉の八幡社と一色の神明社を昭和35年(1960)に神明神社境内に合祀して坂下神社と改称されたものです。本殿の右手に改築記念碑があり、現在の社殿は昭和48年(1973)10月に改築されたもので、境内には津島社・春日社などもまつられています。参道の常夜灯も趣があります。



- 名鉄バス 篠木七丁目
- 15 秋葉社** 徒歩4分
- 16 大泉寺簡易水道水源井跡** 徒歩13分
- 17 賜恩山退休寺** 徒歩4分
- 18 下街道の古井戸** 徒歩4分
- 19 美玉さま(常夜灯(大泉寺))** 徒歩8分
- 20 八幡社(大泉寺)** 徒歩1分
- 21 御嶽神社** 徒歩6分
- 22 尻冷し地蔵** 徒歩2分
- かすがいシティバス 平和公園口

所要時間 約45分
距離 約3.4 km



おんたけじんじや
21 御嶽神社

参道を進むと本殿と舞台があり、並んで覚明霊神など30基ほどの霊神や二十二夜の碑があります。「尾張下街道福寿講」の活動拠点として、縮口・如意申・気噴などからの御嶽山参拝の足掛かりとなっていました。



しりひや じそう
22 尻冷し地蔵

正保4年(1647)の刻字がある市内最古といわれる石の地蔵で、台座の下から清水が湧き、常に濡れていたことからその名がつけました。討たれる直前にここで喉を潤した武士をしのび、この清水の上に建てられたといわれています。*市指定文化財



さかしたごてんあと
23 坂下御殿跡

尾張藩主義直(源敬公)が鷹狩りの拠点とした場所で、平成8年(1996)に整備されました。当時の井戸が残っているほか、公200年祭記念の灯笼、「源敬公坂下御殿跡」の石碑があります。



さかしたふだ つじあと
24 坂下札の辻跡

江戸時代「札の辻」のあった場所に平成12年(2000)まちおこしの一環として立札が復元されました。尾張藩が宿場を整備するために出した「坂下新町免組状」といわれるもので、「坂下」の語源といわれています。